

令和2年度

釧路工業高等専門学校学生募集要項（第2次）

出願書類受付期間	試験日	合格発表
令和2年2月28日（金） ～3月2日（月）	令和2年3月3日（火） 9時15分～	令和2年3月3日（火） 16時30分

独立行政法人 国立高等専門学校機構

釧路工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, KUSHIRO COLLEGE (KOSEN)

〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号
釧路工業高等専門学校 学生課修学支援係
TEL (0154) 57-7222
FAX (0154) 57-6256
Email kyoumug@office.kushiro-ct.ac.jp
URL <http://www.kushiro-ct.ac.jp/>

釧路高専の教育理念・教育目標・学習目標

教育理念

釧路工業高等専門学校（以下「本校」という）は北海道東部に位置する技術系高等教育機関として、地域産業の発展に貢献できる技術者や、国内外で活躍できる技術者の育成、また、産業界への技術支援、技術者のキャリアアップ教育、地域住民の生涯教育や社会活動への支援を任務としている。これらの実現のために「創造力と問題発見・解決能力を備えた実践力のある技術者を育成し、地域の社会的・技術的要請に応え、地域と連携し、地域に貢献する」ことを理念とする。

教育目標

1. 人格をそなえ、自己を律する人物を育てる。
2. 広い視野を持ち、創造力豊かな技術者を育てる。
3. チャレンジ精神に富んだ人物を育てる。

学習目標

【準学士課程】（実践的・創造的技術者）

- A：（技術者として社会に貢献するために）人類の歴史的な背景、文化や価値観の多様性を理解し、地球的規模で社会問題や環境問題を考える基礎能力、および技術が社会や環境に与える影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を理解する基礎能力を身につける。
- B：（地域・社会に貢献するために）地域の産業や社会の抱える課題に対処できる基礎能力を身につける。
- C：（技術的課題を解決できるように）工学の幅広い基礎知識（数学、自然科学、情報技術、基礎工学）を修得し、それらを応用する能力を身につける。
- D：技術者として自己の基盤となる専門分野の知識を修得し、それを応用する能力を身につける。
- E：技術的課題を分析・総合し、解決するための計画をたて、その計画を実行して課題を解決する基礎能力を身につける。さらに、チームワークで仕事をする基礎能力を身につける。
- F：文章、口頭、図表や視覚的な方法によって、効果的にコミュニケーションができる基礎能力を身につける。
すなわち、日本語で論理的に記述し討論する能力、および簡単な論理的文章を英語で記述し、基本的な英会話によるコミュニケーションを行うための基礎知識を身につける。
- G：（技術の進展や社会の変化に対応できるように）継続して専門知識や関連する分野の知識を学習する習慣を身につける。

こんな「あなた」に来てほしい！

… 釧路高専が求める人の姿 …

工学を学ぶための基礎学力を備えた人で

- ◎技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性
- ◎向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力
- ◎社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人……………意識と改革
- ◎約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調
- ◎失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇氣と挑戦

「技術」や「数学」「理科」が大好きな人、生徒会やクラブ、ボランティア活動に積極的な人、新しい「もの」や「方法」を創りだして社会の役に立ちたい人、そして「やる気」にあふれた人 … そんな人たちを歓迎します。

釧路高専がいま求めているのは、きっと「あなた」です。

スマートメカニクスコース

情報工学分野と機械工学分野を融合し、いろいろな機能を実現するために製品に組み込まれるコンピュータシステム技術、高度情報化社会を支えるプログラミング技術、人間と機械間の情報をやり取りしたり情報の流れを制御するためのシステム技術、人間と機械・システム間の橋渡しをするマンマシンインターフェース技術、機械とセンサーやコンピュータ技術を結合させて機械の高度化を図るメカトロニクス技術等を活用することができる、高度な技術者を養成します。本コースでは、それぞれ一つの専門分野を体系的に学び、その後もう一方の専門分野の知識を吸収することにより、目標とする技術者を養成します。

○情報工学分野

スマートメカニクスコースの中で、特に大量の情報を効率よく「取得」「加工」「蓄積」「伝達」するなどの情報工学を中心とした技術者になるため、ネットワークの仕組み、プログラミング技術、データベース技術、人工知能（AI）技術など、情報工学の基礎から応用までの幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. コンピュータの動作原理やプログラミングに興味のある人
2. データベースやネットワークなどのITの応用技術を修得したい人
3. 実践的な技術や専門知識を学習し、IT社会に貢献したい人

○機械工学分野

スマートメカニクスコースの中で、特に「エネルギー」「情報」「機械材料」をつくり出す“ものづくり”などの機械工学を中心とした技術者になるため、力学、設計・製図、材料・加工、メカトロニクス、熱・流体、情報処理技術など、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 機械が好きで、みずから新しい“ものづくり”に挑戦できる人
2. 人のために役に立ち、地球に優しい“ものづくり”に関心のある人
3. グローバルな視点に立ち、安全な“ものづくり”に貢献したい人

エレクトロニクスコース

電気工学分野と電子工学分野を融合し、電気エネルギーや計測制御と光・電子デバイス、電子制御と情報通信技術を学び、人々の安心・安全で豊かな生活を支えるために、社会基盤技術から情報通信技術までの幅広く全ての産業に貢献出来る高度な技術者を養成します。本コースでは、まずは電気・電子分野の共通基礎科目を学び、その後それぞれの専門分野を体系的に学ぶことにより、目標とする技術者を養成します。

○電気工学分野

エレクトロニクスコースの中で、特に人々の暮らしを支える電気エネルギーの「生成」「伝送」「利用」などの電気工学を中心とした技術者になるため、電気の基本から始まり、電気エネルギーの作り方や送り方、電気エネルギーを機械エネルギーに変える方法、機械やロボットの仕組みなど、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています

1. 発電，送電，新エネルギーに興味のある人
2. 電波，放送，通信，画像処理に興味のある人
3. コンピュータ，ロボット，モータに興味のある人

○電子工学分野

エレクトロニクスコースの中で、特に「電子デバイス」「情報通信」「電子制御」などの電子工学を中心とした技術者になるため、電磁気学、電気・電子回路、論理回路、光・電子デバイス、通信工学、プログラム言語などの電子工学に関する基礎から応用までの幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. ICT（情報通信技術）に興味があり、新しい情報伝達の仕組み（通信）を築きたい人
2. 「もの」の仕組みに興味があり、いままでにない物質（半導体）を創りたい人
3. コンピュータで「もの」を測ったり（計測），自動制御によってロボットを自在に動かしたい人

建築デザインコース

本コースでは、建築の「意匠と計画」「構造と材料」「環境と設備」に関する技術を学び、「使いやすさ」や「安全性」と共に、「空間の美しさ」を追求出来る高度な技術者を養成します。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 建物の形やつくり方に興味がある人
2. 暮らしやすい環境に興味がある人
3. デザインすることが好きな人

学 生 募 集 要 項

I. 募 集 定 員

学 科 名	定 員 数
創 造 工 学 科	相当数

II. 第 2 学年におけるコース・分野選択制度

本校では、第2学年への進級時に自分に適した専門分野を選ぶことができる「コース・分野選択制度」を導入しています。

出願時にはコース・専門分野を選択することができません。第1学年は創造工学科の所属となり、コース・専門分野への配属は第2学年進級時に決定します。配属は、第1学年時に行う希望調査と学業成績等により決定し、第2学年進級時に各コース・専門分野へ配属されます（希望するコース・専門分野に配属されない場合もあります。）。

1. 出 願 資 格

- (1) 中学校を卒業した者（令和2年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和2年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（学校教育法施行規則第95条各号に該当する者）

2. 出 願 手 続

(1) 出願書類受付

受 付 期 間	令和2年2月28日（金）から令和2年3月2日（月）まで ※下記（4）を参照願います。
受 付 時 間	9時から16時まで（12時～13時を除く。）
受 付 場 所 及び 書類送付先	釧路工業高等専門学校 学生課修学支援係 〒084-0916 釧路市大楽毛西2-32-1 電話 0154-57-7222

(2) 出願書類等

①	入 学 願 書	本校HPより様式をダウンロード及び印刷（A4白紙）し、必要事項を記入（自筆）してください。
②	写 真 票	本校HPより様式をダウンロード及び印刷（A4白紙）し、必要事項を記入してください。また、令和2年1月1日以降に撮影した上半身・無帽・正面向きで、縦7cm×横5cmの大きさの写真を貼ってください。
③	受 検 票	本校HPより様式をダウンロード及び印刷（A4白紙）し、必要事項を記入（自筆）してください。 ※受検票は受検日当日、会場の受付にてお渡しします。
④	個 人 調 査 書	本校HPより様式をダウンロード及び印刷（A4白紙）し、在籍（出身）中学校長が作成してください。 ※出願資格(3)に該当する者は履修証明書又は成績証明書とします。
⑤	検 定 料	16,500円 検定料を最寄りの金融機関所定の振込依頼書により、下記振込先に振込みの上、取扱金融機関収納印を押した「検定料振込済証明書（金融機関所定の様式）」を必ず受け取り（ＡＴＭ不可）、提出してください（コピー不可）。既納の検定料はいかなる理由があっても返還できません。 ※振込期間 （令和2年2月28日（金）～令和2年3月2日（月）） 振込先 北陸銀行 釧路支店 普通口座 5062100 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部

○学習成績一覧表 中学校長は、学習成績一覧表（公立高等学校に提出するものと同じもの）1部を令和2年3月27日（金）までに提出してください。

(3) 出願に当たっての注意事項

- ① 出願時にはコース・専門分野を選択することができません。第1学年は創造工学科の所属となり、コース・専門分野への配属は第2学年進級時に決定します。配属は、第1学年時に行う希望調査と学業成績等により決定し、第2学年進級時に各コース・専門分野へ配属されます（希望するコース・専門分野に配属されない場合もあります。）。
- ② 出願書類の不備なものは受け付けません。また出願書類に不正の記載があった場合には、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(4) 出願書類等の提出

出願者は、上記書類等を整え一括（個人毎にクリップ止め）して在籍（出身）中学校長を経由し、本校学生課修学支援係へ必ず受付期間内に提出してください。また、郵送の場合は、「釧路高専2次募集出願書類」と封筒に朱書きしてください。

なお、受付期間内に提出ができない場合には、在籍（出身）中学校から電話にて本校学生課修学支援係へ「在籍（出身）中学校名・学生氏名」を連絡し、メール（ファイルにはパスワードをかけていただき、パスワードを別途メールにて連絡願います。）にて出願書類一式を送信してください。出願書類については、在籍（出身）中学校が厳封し、受検生が検査日当日に検査会場受付まで持参してください。

(5) 受検票等の送付

郵送での返送はいたしません。検査日当日に検査会場受付にてお渡ししますので、中学校の生徒証等本人を確認できるものを持参してください。

3. 選 抜 方 法

本校が行う作文、面接及び個人調査書を総合的に判断して行います。

4. 検査の日時・場所

日 時	令和2年3月3日（火） 作文 9時15分～10時00分 ， 面接 10時10分～ ※受付時間は、8時40分～9時00分とします。
場 所	釧路工業高等専門学校（釧路市大楽毛西2-32-1）

※携行品

- 筆記用具（鉛筆・シャープペンシル・シャープペンシルの芯・消しゴム・鉛筆削り）
- 時計（計時機能のみ）
- 上靴は必要ありません。

5. 合 格 発 表

(1) 日 時 令和2年3月3日（火） 16時30分

(2) 方 法 合格者の受検番号を本校学生玄関前に掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付（願書に記載された受検生現住所）し、在籍（出身）中学校長に文書で合格者を通知します。また、本校ホームページに合格者の受検番号を掲載します。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じられません。

6. 入学確約書の提出

掲示もしくはホームページにて合格を確認した者は（合格通知書は、合格発表日翌日に郵送します。）、令和2年3月17日（火）15時【必着】までに、本校ホームページからダウンロードした「入学確約書」を在籍（出身）中学校長を経由し、本校学生課修学支援係へ提出してください（FAX・メール可）。

入学を辞退する場合は、令和2年3月17日（火）15時【必着】までに、在籍（出身）中学校長経由により、「入学辞退届（様式任意）」を、本校学生課修学支援係へ提出してください（FAX・メール可）。

なお、FAX・メールで送信する場合には、速やかに「原本」を郵送願います。

○受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合について

身体に障がいのある者で、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に相談してください。

○個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載している情報及び選抜に用いた検査成績・評価等の入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用します。

○そ の 他

- (1) 募集要項及び出願書類は、ホームページからダウンロードしてください。
- (2) 問い合わせ等については、学生課修学支援係（TEL 0154-57-7222）へ照会してください。

○学寮入寮審査について

2次募集合格者の入寮希望者は、学寮の定員まで受け入れることができます。

○学費・免除制度等

(1) 入学時の諸経費（令和元年度実績）

入学料 84,600円

授業料 234,600円（年額）

※ その他、教科書代、災害共済掛金等の諸経費（100,000円程度）がかかります。
また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用します。

(2) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（学生負担者）が死亡又は学資負担者が風水害等の災害を受けたことより、入学料の納付が著しく困難な場合は入学料が免除される制度があります。

(3) 高等学校等就学支援金制度

高等学校等就学支援金制度により、入学後36ヶ月間は、親権者（保護者）の所得に応じて授業料が減額されます。令和元年度は、親権者合算の市町村民税及び道民税の所得割額の合計が50万7000円以上の方の場合には全額負担となりますが、それ以外の方は授業料が約半額、約75%、または全額が補助されます。

(4) 授業料免除制度

4～5年生及び専攻科生は、経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又は風水害等の災害を受け授業料の納付が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。

(5) 奨学金制度

学業、人物ともに優れ、経済的理由のために修学が困難であると認められた学生に対して、選考のうえ次の機関等から奨学金が貸与されています。

なお、日本学生支援機構では、中学3年生の高専進学希望者を対象とした予約採用の制度があり、中学校を通して申込みをすることができます。

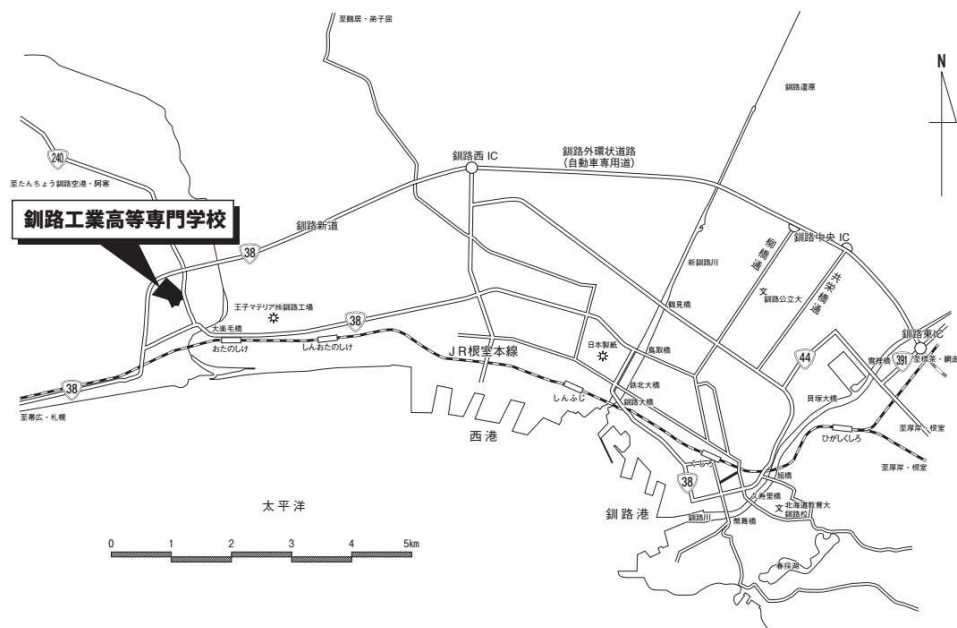
また、4～5年生、専攻科には第二種奨学金制度があります。

〔令和元年度の金額〕

種 類	区 分	1～3年生	4～5年生	専 攻 科
日本学生支援機構 （第一種）	自宅通学	10,000円	20,000円	20,000円
		21,000円	30,000円	30,000円
			45,000円	45,000円
	自宅外通学	10,000円 22,500円	20,000円 30,000円 40,000円 51,000円	20,000円 30,000円 40,000円 51,000円
上記以外	なお、これ以外にも各市町村等で奨学金制度を設けていることがあります。			

○釧路会場

釧路工業高等専門学校（釧路市大楽毛西2丁目32番1号）



- 釧路空港から…………… 釧路駅行連絡バスに乗り（10分），『高専前』で下車
- JR釧路駅前から【くしろバス】……「新富士新野線（28）」又は「白糠線（36）」に乗り（約30分）『大楽毛分岐』で下車，徒歩約7分
- JR釧路駅前から【阿寒バス】…………「大楽毛線（38）」または「阿寒線（30）」に乗り，『高専前』下車（乗車時間約30分）後，徒歩約1分
- JR大楽毛駅から…………… 駅出口を左手に進み，大楽毛橋を渡り三叉路を右へ徒歩約15分

※平日と土日祝日では運行時間が異なります。最新情報は各バス会社へお問い合わせください。

【くしろバス】0154-36-8181 【阿寒バス】0154-36-2221